



役職者による座談会



役職者が話す技術職の魅力

I 名古屋市の技術職の特長は？

河合 まず、名古屋市は政令指定都市であり、事業規模が非常に大きいことが挙げられます。私が所属する上下水道局でも多くの資産を有しながら事業を展開しています。他の自治体と比べて大規模な事業に携われるチャンスが多いです。

鶴田 河合さんが言うとおり中部圏で有数の大都市であり、職員の数や予算の規模も違います。また、規模が大きい故に、学んできたことを通して様々な分野で活躍できます。私は建築区分で市役所に入りましたが、所属している住宅都市局はもちろん、上下水道局でも環境局でも建築区分の技術者が活躍しています。同じ建築区分でもやっている仕事は違う。ほかにも都市計画やまちづくりに関する部署もありますし、バラエティに富んだ仕事を経験できるのも魅力でしょう。

寄高 私も同感ですね。私が所属する環境局でも事業規模の大きなものがあります。例えば、2020年3月まで稼働していた南陽工場は日本で2番目の処理能力を誇るごみ処理施設でした。こうした大規模な施設の計画から建設、運営までに携われるのが特長であり魅力だと思います。

河合 最近、民間経験者の職員の活躍が目立ってきたと感じています。これは他の自治体も同様かもしれませんが、名古屋市も門戸を広げて採用するようになりました。多彩な経験と広い視野を持った技術者がおり、良い変化が生まれています。年功序列も良い意味で崩れてきているように感じますし、最近はや若い職員の活躍も目立っていますね。

II 他の部署と協力して事業に取り組むことはありますか？

鶴田 大きな事業になればなるほど多いです。特に私が所属する住宅都市局は、事業の大小こそありますが、ほぼすべての局と関わりを持っています。今ちょうど寄高さんが所属する環境局と、南陽工場の設備更新に関する事業と一緒に取り組んでいるところです。

寄高 私たち環境局が求めていることを住宅都市局に伝えることから始まり、綿密な打ち合わせを重ねながら更新計画を練っています。ほかには西区にある山田工場の解体も住宅都市局と協力しながら進めています。

河合 上下水道局ですと、浸水対策のため、河川を担当している緑政土木局と協力して事業を進めています。組織の縦でも横でも関わりは非常に多い仕事だと思います。



住宅都市局 営繕部 営繕課長
鶴田 法仁

大勢の方々と関わっていく仕事 コミュニケーション能力は欠かせません

経歴	係員段階		係長段階		課長段階	
	1988年	建築局 営繕部 営繕課	2007年	緑政土木局 東山総合公園 再生推進室 主査(再生推進)	2017年	住宅都市局 リニア関連都心開発部 主幹(市街地整備)
	1988年	建築局 営繕部 学校建築課	2009年	住宅都市局 営繕部 営繕課 主査(東山動物園再生)	2020年	住宅都市局 営繕部 営繕課長
	1999年	建築局 営繕部 営繕第二課	2011年	住宅都市局 都市計画部 街路計画課 主査(交通まちづくり)		
	2000年	住宅都市局 営繕部 住宅・教育施設課	2012年	住宅都市局 都市計画部 交通企画課 主査(交通エコライフ)		
	2003年	環境局 環境都市推進部 環境都市推進課	2013年	住宅都市局 まちづくり企画部 都心まちづくり課 主査(栄公共空間)		
	2005年	住宅都市局 都市計画部 都市計画課	2014年	住宅都市局 都心開発部 都心まちづくり課 主査(栄公共空間)		
			2015年	住宅都市局 都市計画部 都市計画課 地域計画係長		



上下水道局 技術本部 建設部 工務課長
河合 克敏

大きな事業にチャレンジできる面白さ このまちに爪痕を残してください

経歴

係員段階	係長段階	課長段階
1992年 下水道局 業務部 第二管路事務所	2008年 上下水道局付主査 地方共同法人 日本下水道事業団(派遣)	2016年 上下水道局 技術本部 計画部 主幹 (雨水対策の総合調整)
1994年 下水道局 建設部 第二工事事務所	2009年 上下水道局 技術本部 計画部 下水道計画課 主査(緊急雨水整備計画)	2018年 上下水道局 技術本部 建設部 主幹 (大規模施設建設の設計・工事調整・安全監理対策)
2000年 上下水道局 下水道本部 下水道建設部 施設課	2011年 上下水道局 技術本部 建設部 建設工事事務所 工事第二係長	2020年 上下水道局 技術本部 建設部 工務課長
2006年 地方共同法人 日本下水道事業団 (派遣)	2012年 上下水道局 技術本部 建設部 建設工事事務所 工事第一係長	
	2013年 上下水道局 技術本部 計画部 下水道計画課 計画第二係長	



環境局 施設部 主幹(建設計画)
寄高 正剛

異動を通して知識も経験も積み重ねていける 自己成長が望める仕事です

経歴	係員段階	係長段階	課長段階
	1992年 環境事業局 施設部 猪子石工場	2010年 環境局 施設部 工場課 主査 (鳴海工場運営調整)	2018年 環境局 施設部 南陽工場長
	1995年 環境事業局 施設部 建設計画室	2012年 環境局 施設部 工場課 主査 (新工場建設推進)	2020年 環境局 施設部 主幹(建設計画)
	1998年 環境事業局 施設部 工場課	2014年 環境局 施設部 工場課 主査 (技術管理)	
		2017年 環境局 施設部 工場課 工場管理係長	

鶴田 国や県と協議して進める事業もありますからね。民間の事業者の方々を含め、どの局にいても様々な人たちと仕事をするわけですから、コミュニケーション能力は大切だと感じます。

が、市役所の技術職にはルーティンワークではない仕事も数多くあります。

鶴田 そうですね。前例のない仕事にチャレンジできる機会が多いです。それもこの仕事の面白さですね。

寄高 異動も同じで、新しい環境に身を置くことで、発見と刺激が得られます。常に勉強する必要がありますが、知識と経験は必ず自分の財産になります。たとえまったく関係のない分野に異動することになったとしても、それまでに培ったことは必ずどこかで役に立つはず。自己成長を楽しめる職場だと思います。

様々な部署がありますが、異動することの面白さやメリットは何でしょう？

河合 異動先で成果を残せること、そして積み重ねではないでしょうか。以前、私は日本下水道事業団に3年間出向し、全国の下水道事業の計画・設計に携わりました。その経験は私の財産となっています。上下水道局では大体5年で異動になることが多いですが、5年もあれば配属先の係にいる間に何かを形として残せます。私も若い頃は上司に『ここで爪痕を残さない』とよく言われました。一つの成果を残して次に進める。異動先で次の目標が見つかる。モチベーションの維持にもつながりますし、良いサイクルを生んでいるように思います。

鶴田 設計から工事まで2年程度の建築工事が多いので、係にいる間に全体の工程を把握できます。都市計画など大規模なプロジェクトになると計画から実行まで期間が長いので、全てに関わるのは難しいのが実情ですが、どこかに自分の功績を残せます。そして、その経験は決して無駄にはなりません。

寄高 仕事にはルーティンワークと、そうではない仕事があります。外から見ての方にとっては意外かもしれませんが

最後に受験を考えている方々に向けて メッセージをお願いします。

河合 名古屋市は大きな事業が多いですが、単純に予算規模だけでなく、技術者として幅広い仕事に挑戦できるのも魅力です。

鶴田 建築区分の立場からお話すると、建物を建てることもあれば、都市計画やまちづくりに携われることもあるなど、幅広い事業で活躍することができます。前向きでチャレンジ精神を持っている方と働きたいですね。

寄高 水道や地下鉄など、日常生活で利用するものの多くに市が関わっており、技術職の活躍する場が多くあります。共に良い名古屋をつくっていきましょう。

本市の将来展望や主要事業、魅力などについて
お知らせする『名古屋市職員採用ナビ』を公開しています

<https://www.recruit.city.nagoya.jp/>



⑧ 名古屋市 名古屋市人事委員会事務局任用課

お問い合わせ

052-972-3308

応対時間 月曜日から金曜日(祝日及び振替休日を除く)の午前8時45分から午後5時30分まで

名古屋市 職員採用

検索

Eメール:a3308@jinji.city.nagoya.lg.jp